

星空公団の活動紹介

～ 街と星空の共存を目指して ～

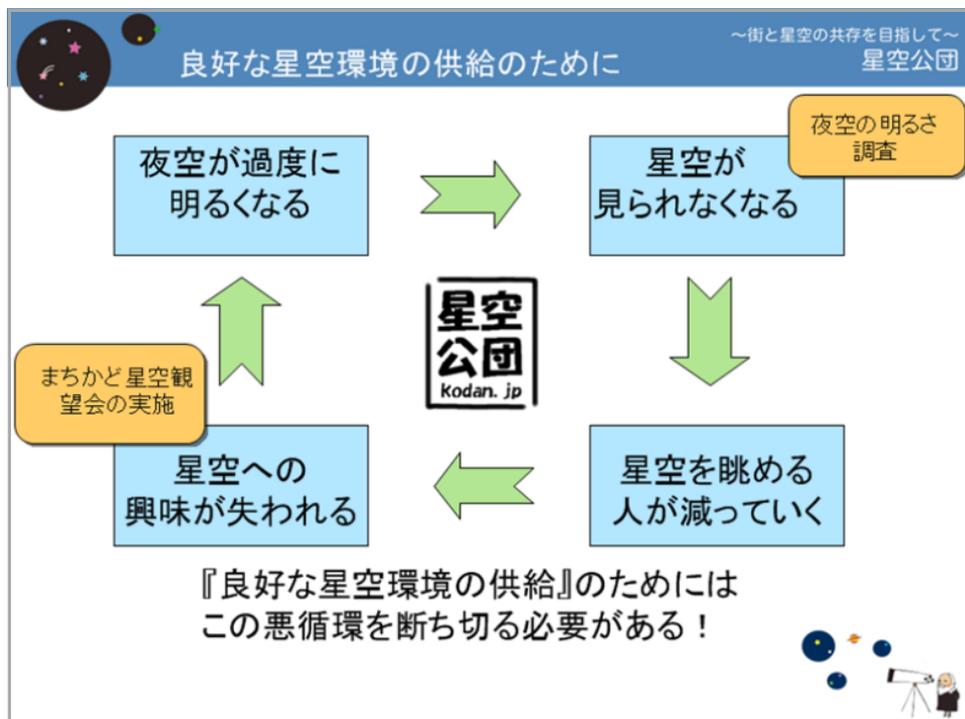


I. 星空公団とは？

都市部を中心に、失われつつある良好な星空環境の供給を目的としたブランドネームです。参画メンバーを中心として、以下の活動を展開しています。

- まちかど星空観望会の開催および開催支援
- 夜空の明るさ調査の研究および調査実施
- 上記活動に資する機器及びソフトウェア開発

この活動内容は、特に都市部において顕著な、星空環境を巡るデフレスパイラルを解消するため、その悪循環に介入することを意味しています。



星空公団では代表を置かず、メンバー各員が活動ごとまた地域ごとに実質的なリーダーシップをとって事業を進めています。メンバーは社会人・学生・研究者が中心で、人数は約 50 人、30 代前後のメンバーが主です。

II. 具体的な活動内容

A) まちかど星空観望会ワークショップ

駅前や市街地で通りがかりの人に呼びかけて行う星空観望会(まちかど星空観望会)の、情報交換やノウハウ紹介、それにこれから始めようとする人たちへの呼びかけを狙ったワークショップを開催しています。ワークショップでは座学と実践(観望会)の両方を行っています。

- 第 1 回 飯田橋 RAMLA
2010 年 2 月 27 日
- 第 2 回 大阪市立中央青少年センター
2010 年 3 月 27 日
- 第 3 回 日本科学未来館
2010 年 7 月 18 日 今後も開催予定

B) デジカメ星空診断

デジタル一眼レフカメラを使って夜空の明るさを測るキャンペーンを実施しています。

これまで夜空の明るさを測る方法といえば、リバーサルフィルムを使った測定や Sky Quality Meter といった専用の測定器を使う方法が一般的でした。

星空公団では、デジタル一眼レフカメラを使い、簡単かつ精度よく夜空の明るさを測定する方法を提案しています。多種多様なカメラを使って測定ができることを確認するため、全国 100 名の方々の協力のもと、『デジカメ星空診断』と名付けた公開実験を「星ナビ」と共同で 2009 年に実施し、デジタル一眼レフカメラを使って全国規模の調査が可能であることを確認しました。



AstroArts

今後は、撮影したデータを投稿するとリアルタイムで夜空の明るさが測定でき、全国のマップができあがっていく仕組みを提案していきます。

C) まちかど星空観望会開催および協力

良好な星空環境であるとはいえない都市部を中心にまちかど星空観望会活動を実施し、広く一般の方々に天文への興味・関心を持っていただくことを目指しています。駅前広場やショッピングセンターなどで不定期の観望会を主催するほか、他団体に協力し、活動を広めるお手伝いをしています。

関西では、梅田スカイビル空中庭園や阪急西宮ガーデンズの観望会に協力しています。



D) 研修

メンバーのスキルアップを目指して年 1 回の合宿を含む研修を実施しています。

合宿は座学とともに実践（実戦）を含む体育会系「強化合宿」です。

E) 機器開発

活動に資する機器やソフトウェア、オリジナルグッズを開発しています。



←解説マニュアル

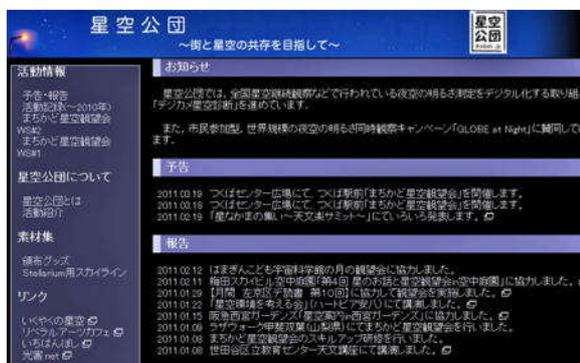
←コンパクト星座早見

詳しくは星空公団HPをご参照下さいませ。

Ⅲ. まとめ

- 星空公団は「良好な星空環境の供給」を目的として観望会や夜空の明るさ調査を主な活動にしています
- 「良好な星空環境の供給」に役立つ面白い企みがあれば是非ご一緒しませんか
- 公団活動への参画もお待ちしています

星空公団HP (<http://www.kodan.jp/>)



(関西の協力団体)

いくやくの星空

「宇宙の感動をもっと身近に」をスローガンに、駅前や公園などに望遠鏡を持ち出し、ゲリラ的に天体観望会を行うボランティア団体です(許認可をとって行っています)。主に大阪周辺の駅前や公園などで活動するほか、他団体とも連携して協力を展開しています。

<http://star-stars.rgr.jp/ikuyaku.html>